

平成19年度 多久市春季聖廟積菜記念中学生バレーボール大会

4月22日(日)、緑が丘小学校体育館において、多久市春季聖廟積菜記念中学生バレーボール大会が行われた。

大会には、小城市および多久市の中学校計10チームが参加し、男子は3チームによるリーグ戦、女子は7チームによるトーナメントで優勝を目指し競った。参加チームは、男子の部に多久市からの参加はなかったものの、女子の部には、市内3校が参加した。

競技の結果、惜しくも3校の中から優勝チームを出すことはできなかったが、中央中学校と東部中学校が、共に1勝1敗で並び3位となった。

男子の部

優勝 三日月中学校

2位 牛津中学校

3位 小城中学校

女子の部

優勝 三日月中学校

2位 芦刈中学校

3位 中央中学校

東部中学校



市長のWindow

平成18年度 市長交際費支出状況

支出種別	区別	件数	金額
弔慰	3月分	1	5,000
		57	210,145
見舞い	3月分	0	0
		7	70,000
御祝	3月分	2	13,255
		39	264,805
賛助	3月分	1	5,000
		10	54,171
激励金	3月分	0	0
		2	20,000
接遇	3月分	2	8,000
		75	184,942
会費	3月分	0	0
		41	216,500
その他	3月分	0	0
		12	41,330
合計	3月分	6	31,255
		243	1,061,893

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115

市民のみなさんへ

市長コラム



奮起と衝撃の春

4月2日の午後、総理大臣官邸で安倍首相から、地方分権改革推進委員会の委員を拝命した。委員は全国で7人。1月末に「全国の市長の中から多久市長に頼みたい」と白羽の矢を頂いた。委員就任は国会同意を必要とし、時間を要し、3月末に正式決定された。責任と使命の重大さに身の引き締まる思いだ。

総理も「地方分権改革は私の内閣の最重要課題」と熱く語られ、わが国の政治行政全般に新しく大胆な提案を求められた。早速、官邸で第1回目委員会が開かれた。多久市の市政運営にもさらに努力せねばと改めて奮起し、決意を新たにした。

第2回委員会のあと、佐賀空港へ飛ぶ機内で「長崎市の伊藤一長市長が銃撃された」との衝撃的ニュースを聞いた。最初は耳を疑った。「なんとかなる」が口癖の伊藤市長は九州市長会会長としても活躍され、副会長である私もご厚誼をいただいた。心肺停止の報に眠れず、回復を祈りテレビを見つめた。しかし一縷の望みも虚しく、不帰の人になられた。

ともに九州の市長として交流や道州制議論を重ねた者として、真に残念でならない。また奥様や側近の方々を知るだけに、その悲しみや悔しさが津波のように胸に迫った。

市民の夢や希望を活かせるよう、また不満や不安を少しでも解消できるよう、公職に在る者は使命を受け、奮闘する。その任の重さを感じ、未来への勇気や力をもらうのが選挙である。その最中の惨劇、民主主義の破壊行為に憤りを禁じえない。

奔走と悲痛さが混じる4月の疾風になった。

新たに受けた期待と責任、悲報の中から心に響く教えや出会いの恩情を無にせぬように、微力を尽くして進みたい。(俊)

市長のホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ys/>